

令和3年度9月補正予算の事業概要

単位:千円

不登校児童生徒支援拡充事業費(義務教育課) 39,834

コロナ禍で経済的に困窮する家庭の不登校児童生徒に対して授業料を減免したフリースクールへの支援や、オンライン学習環境の整備等を行うことで、多様な教育機会を確保する。

1 フリースクールに対する財政的支援

- (1) 対象者 フリースクール連携推進事業の対象となったフリースクール
- (2) 補助対象 要保護・準要保護家庭の不登校児童生徒に対する授業料減免額
- (3) 補助率 県10/10

2 教育事務所を拠点としたオンライン学習支援

- (1) 対象者 要保護・準要保護家庭の不登校児童生徒
- (2) 補助対象 オンライン学習者ID利用料
- (3) 補助率 定額2,750円/月

3 基礎・基本学習動画の作成

小学校高学年の復習及び中学1年生の学習の基礎・基本を対象とした動画の作成
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)

県立学校ICT活用教育環境整備費(高校教育課) 185,091

一人1台端末の本格運用開始によるインターネット回線利用頻度の急増に伴う接続不良を解消するための回線増強やWi-Fiアクセスポイント増設等の整備を行う。

1 学習系Wi-Fiシステムのインターネット接続回線増強(23校28回線)

2 Wi-Fiアクセスポイントの増設(66校500台)

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)

特別支援学校ICT活用学習環境充実事業費(特別支援教育課) 7,516

コロナ禍においても一人1台端末をより安全・効果的に活用して学習できるよう、一人ひとりに応じた周辺機器や学習アプリケーション等を購入し、学習環境の充実を図る。

1 周辺機器の購入(ハードケース、入力用ペン等)

2 個々の障がい特性に応じたアプリケーションの購入

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)

子どもの居場所確保緊急対策連携事業費(社会教育課) 26,036

コロナ禍の長期化による子どもの教育・体験環境の格差の改善や居場所づくり、教育・体験活動の確保を図るため、市町が緊急に行う事業やICT環境の整備を支援する。

1 子ども体験活動緊急支援

(1) 事業主体 市町

- (2) 補助対象 長期休業日等の集中学習、季節の行事等での体験交流活動
新たな子どもの活動場所の確保等に要する経費

(3) 補助率 県2/3(上限400千円)

2 放課後子ども教室等ICT環境緊急整備

(1) 事業主体 市町

- (2) 補助対象 放課後子ども教室、えひめ未来塾のリモート開催に必要な端末の購入、
Wi-Fi環境の整備等に要する経費

(3) 補助率 県2/3(上限108千円/室)

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)

県立図書館読書環境整備推進事業費(社会教育課) 51,478

学校等への図書一括貸出機能の充実や館内貸出環境の整備によりステイホームへの対策強化を図るとともに、行政資料の電子化により館内の長時間滞在を抑制する。

1 学校等への図書一括貸出機能の充実等

(1) 学校等への一括貸出用図書購入(12,000冊)

(2) 図書消毒器の設置(3台)

2 行政資料電子化

明治期・藩政期の愛媛県行政資料(約600点)

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)

いじめ等相談体制構築事業費(人権教育課)

4,027

コロナ禍で進路決定等の特に不安が高まる時期の子どもの悩みやストレスを受け止め、問題の深刻化の未然防止や早期対応に向けた支援を行うため、SNS活用相談窓口を拡充する。

1 SNS活用相談窓口の拡充

- (1) 相談日時 毎日18:30～21:30
- (2) 相談員 4人
- (3) 期間 3年11月～4年1月
- (4) 委託先 民間事業者

2 QRコード付きカード、ポスターの作成・配布

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)